

2011年10月13日、兵庫県龍野・赤穂健康福祉事務所によって、毎年流行を繰り返すインフルエンザや、今後発生が危惧されている強毒性の新型インフルエンザなど、様々な感染症の流行に備えるために、医療従事者向け研修会が開催されました。当日は、西播磨圏域の58施設から、143名の医師や看護師などの医療従事者が参加し、流行の拡大や、院内感染などを未然に防ぐために、講演に加えて実技訓練など、実践的な研修が行われました。

「日本の医療を災害から守り、その被害を最小限に食い止めることに貢献する」というミッションのもと活動するジャパンメディカルパートナーズは、より万全な対策実現に向けて実技指導などの面で、この研修会の開催にご協力いたしました。

開催概要

日時:平成23年10月13日(木) 14:00～16:00

場所:たつの市はつらつセンター 3階多目的ホール

主催:兵庫県龍野・赤穂健康福祉事務所 協力:ジャパンメディカルパートナーズ(以下、JMP)

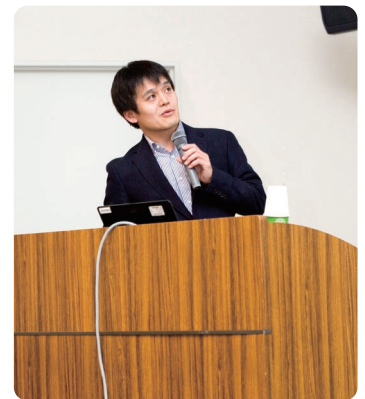
プログラム:

- 講演1 「すぐに取り組める感染防止対策～インフルエンザ流行に備えて～」
講師 独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 呼吸器内科医師 佐々木 信先生
- 講演2 「感染防止対策について～JMPの取り組みと関連の防疫器材～」
講師 JMP事務局
- 実演 「N95マスクの装着・フィットテスト」(JMP/スリーエムヘルスケア)
「防護服の着脱・バリア性能の説明」(JMP/エイブル山内)
「正しい手の洗い方」(龍野健康福祉事務所、JMP/サラヤ)
- 実器展示 「N95マスク」「マスクフィットテスター(デジタル)」「個人防護服セット(以下、PPE)」「手指消毒薬」「手指チェッカー」「パーテーション」
- パネル展示 「ポータブルX線」「人工呼吸器」「陰圧テント」「空気清浄機」「緊急デリバリー」ほか



講演「すぐに取り組める感染防止対策～インフルエンザ流行に備えて～」

講師 独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター 呼吸器内科医師 佐々木 信先生



講演のポイント

- まずは接触感染、飛沫感染を防止する
- 基本は、手を清潔に保つこと
- 平時よりPPEの正しい使い方や着脱法を修得すること

基本は接触感染、飛沫感染の防止 まずは手をきれいに保つことが重要

本日は、より適切な対策の実践に向けて、感染症・インフルエンザの基礎的なご説明と、院内感染防止や患者さんの家庭内での蔓延防止に向けた基本要件、そしてそれを実践する手段を中心にご説明します。

感染症やインフルエンザの感染経路は、「接触感染」「飛沫感染」「空気感染」の3つ。その中で、すぐに取り組めるのは「接触感染」「飛沫感染」の防止であり、**まずは「手をきれいに保つ」ことが非常に大切**です。

手を綺麗に保つために、手洗いや手指消毒を適切に行いましょう。インフルエンザの場合は、アルコール消毒で問題ありません。但し、手袋は手指衛生行動に代わるものではありませんし、手袋の上からの消毒ではきちんと行えない可能性も高いため、処置毎に手袋を変え、着脱の前後で消毒を忘れないようにしましょう。ま

た「飛沫感染」の防止に向け、サージカルマスクなどのマスク着用に加えて、「肘ブロック」なども非常に有効です。是非患者さんにご指導いただけたらと思います。そして、「空気感染」の予防については、N95マスクや、PPE、更に、陰圧環境下での診療が必要になります。

但し、どのような装備でも、ただ着ただけ、に終わっては意味がありません。医療従事者は、**平時から、正しいPPEやN95マスクの正しい着脱法の習得に向けて、あらかじめ訓練をうけておくことが重要**です。最後に、今後、H5N1型の鳥由来の強毒性インフルエンザも流行する可能性があります。まずは基本的な手技をきちんとおさえて、1歩ずつ進めていただけたら幸いです。

講演「感染防止対策について～JMPの取り組みと関連の防疫器材～」

講師 ジャパンメディカルパートナーズ事務局

インフルエンザなどの感染症流行対策は 医療関係者・自治体・民間企業の三位一体で！

東日本大震災前までは3日間耐えれば、と言われていましたが、災害時には長期間にわたって政府や隣県の救援が受けられないという事態が起こる可能性があることが明らかになりました。特に、新型インフルエンザの場合は、周辺地域を含めて、同時多発的に発生するため、地域完結型の対応が必要とされます。

私たち、モノやサービスを提供する民間企業としては、適切な対策の実現には医療従事者・自治体・民間企業の三位一体の連携が必要と考えています。その連携の中で、「問題意識・知識の共有」と「発生時の対策プラン」の2つを適切に行っておくことで、より万全の備えができるのではないかと考えております。



実演紹介①

「正しい手の洗い方」

(龍野健康福祉事務所、JMP/サラヤ)



ポイントは指の間・親指・手首

サラヤによる、手洗い石けん液を使っの正しい手洗い方法の指導。ポイントは、指の間、親指、手首など洗い残しの多い部分をしっかりと洗うこと。参加者も実演に従って実際に手洗いをして手洗いチェッカーで確認。思わぬ洗い残しが浮かび上がって驚く方も。

実演紹介②

「N95マスクの装着・フィットテスト」

(JMP/スリーエムヘルスケア)



飛沫核による感染防止に必須

長期間空中を漂う飛沫核による感染予防に必要なN95マスク。どうすればすき間なくマスクを着けられるかが重要で、そのための正しい着脱法をスリーエムヘルスケアが実演を交えて指導。直接吸い込むと咳き込んでしまうほど甘い霧を使って、モレがないかをチェックした。

実演紹介③

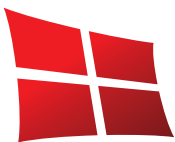
「防護服の着脱・バリア性能の説明」

(JMP/エイブル山内)



PPEを脱ぐ時は内側に丸めこんで

エイブル山内による実演。感染防護服の正しい装着法の実演においては、感染部分に触らずに脱ぐ方法が示された。脱ぐ時は、服の表面を内側に丸め込むようにたたむのがポイント。感染防護服が血液や体液から医療従事者を保護する能力の実験も。



JAPAN MEDICAL PARTNERS

ジャパンメディカルパートナーズは、災害時の日本の 医療継続に向けた備えを共に行う支援事業体です。

私たちは、震災や感染症の流行など、様々な災害に対する正しい知識を啓発し、それぞれが自衛に取り組む大切さとその意義を訴えます。その上で、災害時の医療継続に向けた対策を全力でサポート。その被害を最小限に食い止める各自の自発的な活動を、あらゆる面から支援します。

[加盟社]



(2011年10月時点)

■JMP公式ホームページ<http://www.japan-medical-partners.jp/>

ジャパンメディカルパートナーズ

検索

加盟社自由記入欄